

1 事業実施の概略

特定非営利活動法人名古屋スポーツクラブは、スポーツ活動を通じて、愛知、名古屋市のスポーツ水準の向上、特にハンドボールの普及を図り、健全な青少年の育成と地域住民の健全なスポーツライフの実現に寄与するとともに、スポーツを通して全国ひいては国際的な交流と親善に貢献することを目的とし、次の事業を実施した。具体的には、本法定款第5条第1項の事業としてスクール事業を実施し、第2項ならびに第3項の事業としてクリニック事業を実施し、第4項、第5項、第6項の事業として大会運営、大会受託事業を実施し、第7項、第8項の事業としてアスリート事業を実施した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利に係る事業

ア スクール事業

(ア) 事業内容

ハンドボールスクール、剣道教室、女性バレーボールクラブを開講し、一般市民を対象に開催した。

(イ) 開催日時

【ハンドボールスクール】

平成23年4月10日(日)～平成24年3月11日(日)の内、26日。(原則日曜日開催。8:50～13:00)

【剣道教室】

平成23年4月2日(土)～平成24年3月31日(土)の内、100日。(原則火曜日、土曜日開催。火:18:30～20:30 土:10:00～12:00)

【女性バレーボールクラブ】

平成23年4月4日(月)～平成24年3月29日(木)の内、91日。(原則月曜日、木曜日開催。9:30～12:30)

(ウ) 会場

ブラザー体育館

(エ) 指導者及び従事者

HC名古屋指導員20名、HC名古屋トップチーム 14名、理事3名。

(オ) 参加者

一般市民 315名

(カ) 支出額

2,063,360円

(キ) 収入額

129,211円

イ クリニック事業

(ア) 事業内容

ハンドボールの講習会を企画開催する。

(イ) 開催日時

平成23年8月27日(土)～平成24年3月26日(月)の内、9回延べ16日間。

(ウ) 会場

ブラザー工業体育館、他全国各地。

(エ) 講師及び従事者

HC名古屋トップチーム選手、ヘッドコーチ、15名、理事1名。

(オ) 参加者

中、高、大学生、指導者、450名。

(カ) 支出額

277,227円

(キ) 収入額

540,773円

ウ 大会運営、大会受託事業

(ア) 事業内容

大会、イベントを企画運営、または、受託運営する。

(イ) 開催日時

平成23年4月5日(火)～平成24年3月25日(日)の内、4回延べ164日間。

(ウ) 会場

ブラザー工業体育館

(エ) 従事者

理事12名

(オ) 参加者

小学生～一般まで、延べ 4250名。

(カ) 支出額

2,375,972円

(キ) 収入額

4,159,204 円

- エ アスリート事業
 - (ア) 事業内容
HC名古屋トップチームの公式戦への参加。
 - (イ) 開催日時
平成22年6月25日(土)～平成23年3月4日(日)間での内、国民体育大会県予選、第35回日本リーグ、第62回全日本総合選手権大会に出場。
 - (ウ) 会場
全国各地
 - (エ) 従事者
理事4名
 - (オ) 参加者
HC名古屋トップチーム14名
 - (カ) 支出額
6,321,479 円
 - (キ) 収入額
110,220 円
- (2) その他の事業(収益事業)に係る事業
本年度は実施せず。

3 会議の開催に関する事項

(1) 総会

ア 通常総会

(ア) 開催日時及び場所

平成23年5月31日(火) 20:00～21:00 ブラザー体育館会議室

(イ) 議題

- ①平成22年度事業報告について
- ②平成22年度会計報告、監査報告について
- ③平成23年度事業計画案について
- ④平成23年度収支予算案について

(2) 理事会

ア 第1回理事会

(ア) 開催日時及び場所

平成23年5月31日(火) 18:30～19:45 ブラザー体育館会議室

(イ) 議題

- ①平成22年度事業報告について
- ②平成22年度会計報告、監査報告について
- ③平成23年度事業計画案について
- ④平成23年度収支予算案について
- ⑤その他 報告、審議報告事項について

イ 臨時理事会

(ア) 開催日時及び場所

平成23年12月1日(木) 18:30～19:45 ブラザー体育館会議室

(イ) 議題

- ①スポーツ振興くじ助成金申請について
- ②トップチーム選手採用について
- ③その他

ウ 第2回理事会

(ア) 開催日時及び場所

平成24年3月13日(火) 18:30～20:00 ブラザー体育館会議室

(イ) 議題

- ①スポーツ振興くじ助成金交付申請について
- ②各部の活動報告
- ③体育館委託管理について
- ④認定NPO法人化について
- ⑤役員改選について
- ⑥その他

以上

平成23年度「特定非営利活動に係る事業会計」収支計算書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

特定非営利活動法人名古屋スポーツクラブ

単位:円

科目	予算額	決算額	差異	備考
(資金収支の部)				
I 経常収入の部				
1 年会費収入	5,100,000	6,516,500	1,416,500	
1) 正会員年会費	2,740,000	2,359,500	△ 380,500	@ 10000
2) 個人賛助会員年会費	350,000	497,000	147,000	個人83名
3) 法人会員年会費	2,010,000	3,660,000	1,650,000	法人18社、1団体
2 事業収入	7,066,000	4,939,408	△ 2,126,592	
1) スクール事業	366,000	129,211	△ 236,789	事業報告書参照
2) クリニック事業	700,000	540,773	△ 159,227	事業報告書参照
3) 大会運営・大会受託事業	4,500,000	4,159,204	△ 340,796	日本ハンドボールリーグ運営
4) 情報発信事業	0	0		
5) アスリート事業	1,500,000	110,220	△ 1,389,780	
3 その他収入	1,213,000	1,216,143	3,143	
1) 補助金	700,000	258,672	△ 441,328	ブラザー工業助成他
2) 雑収入	513,000	957,471	444,471	寄付金等
経常収入合計	13,379,000	12,672,051	△ 706,949	
II 経常支出の部				
1 事業費	12,725,000	11,038,038	1,686,962	
1) スクール事業	2,375,000	2,063,360	311,640	事業報告書参照
2) クリニック事業	0	277,227	△ 277,227	事業報告書参照
3) 大会運営・大会受託事業	2,000,000	2,375,972	△ 375,972	事業報告書参照
4) 情報発信事業	0	0		
5) アスリート事業	8,350,000	6,321,479	2,028,521	事業報告書参照
2 管理費	654,000	963,873	△ 309,873	
1) 役員報酬	0	0		
2) 給料手当	0	0		
3) 会議費	20,000	32,631	△ 12,631	理事会・総会
4) 旅費交通費	120,000	154,408	△ 34,408	
5) 通信運搬費	30,000	47,850	△ 17,850	郵送料
6) 消耗品費	30,000	74,766	△ 44,766	事務用品等
7) 印刷製本費	150,000	119,175	30,825	会報・封筒等印刷費
8) 雑費	304,000	535,043	△ 231,043	ウェブ維持管理費等
3 予備費	0	0		
1) 予備費	0	0		
経常支出合計	13,379,000	12,001,911	1,377,089	
経常収支差額	0	670,140	670,140	
III その他資金収入の部				
1 固定資産売却収入	0	0		
1) 什器備品売却収入	0	0		
2 繰入金収入	0	0		
1) 繰入金収入	0	0		
3 借入金収入	0	0		
1) 長期借入金収入	0	0		
その他資金収入合計	0	0		
IV その他資金支出の部				
1 固定資産取得支出	0	0		
1) 車両運搬具購入支出	0	0		
2) 電話加入権購入支出	0	0		
2 借入金返済支出	0	0		
1) 長期借入金返済支出	0	0		
その他資金支出合計	0	0		
当期収支差額	0	670,140	670,140	
前期繰越収支残高	6,684,350	6,684,350	0	
次期繰越収支差額	6,684,350	7,354,490	670,140	
(正味財産増減の部)				
V 正味財産増加の部				
1 資産増加額	0	670,140	670,140	
1) 当期収支差額		670,140	670,140	
2 負債減少額	0	0		
1) 長期借入金返済額		0		
VI 正味財産減少の部				
1 資産減少額	0	0		
1) 什器備品売却額		0		
2) 車両運搬具減価償却額		0		
3) 什器備品減価償却額		0		
2 負債増加額	0	0		
1) 長期借入金増加額		0		
当期正味財産増加額	0	670,140	670,140	
前期繰越収支残高	6,684,350	6,684,350	0	
当期正味財産合計	6,684,350	7,354,490	670,140	

注意事項1

設立の翌事業年度からは、資金収支の部の末尾の部分にある「設立時資金有高」の項目は、「前期繰越収支差額」になります。

注意事項2

設立の翌事業年度からは、正味財産増減の部の「設立時正味財産有高」の項目は、「前期繰越正味財産額」になります。

注意事項3

備考には、決算額の内訳を記載してください。